

国際部通信 5号 ～6月2日国際理解講座開催～



3学年を対象に「福島から世界へ～県内の起業家の方々より～」と題し、国際理解講座を行いました。今回は、事業を起こすことで福島の復興を世界へ発信している方や、地域産業を国際市場へと尽力されている方、ご自分のバックグラウンド生かし福島から国際交流を推進している方など5人の講師の方をお招きしました。生徒は自分の進路などを考慮し、希望の講座を選択し、「働くことの意義」や「事業をとおしての福島の魅力や可能性」について学びました。新しい発想で、福島を舞台に社会に貢献され、ご活躍されている方々のお話を伺えた貴重な時間となりました。



講師のみなさん

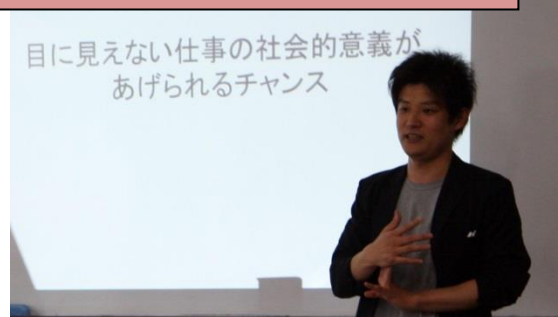
郡山市国際政策課 武田正俊氏

2014年に新設された部署の中で、郡山市の魅力国内外へと発信していらっしゃいます。郡山市と海外を結ぶ懸け橋として、私たち市民のためにご活躍されています。



Gatch 株式会社 松永 武士氏

浪江・「大堀相馬焼」の後継者として新しい伝統工芸品の可能性を海外にも発信していらっしゃいます。海外での事業を興された経験もあり、ポジティブな生き方に熱いエネルギーを感じました。



ふくかんねっと ちょん・ひょんしる氏

韓国と日本の懸け橋となり、交流活動を行っていらっしゃいます。言語学者でもあり、講演活動や執筆活動など多岐にわたり活躍されています。また、震災後は心を癒すコミュニティの場所として、福島市でカフェ経営もされています。



会津電力株式会社

佐藤彌右衛門氏

喜多方市・大和川酒造の九代目当主です。本業を譲り、2013年に新会社を設立されました。地域のエネルギー自立と安全で持続可能な社会を作ろうと、次世代のために尽力されています。



WATASI JAPAN 名和淳子氏

子育て中の女性が活躍できる場所作りのため会社を設立されました。マレーシアでの海外生活を元に、イスラム教の女性たちのスカーフ（ヒジャブ）を制作・販売し、女性の社会参加、地域活性化に貢献していらっしゃいます。

